



# 東日本大震災津波被害と 岩手県の取組



平成 23 年 9 月  
岩手県

# 目 次

## I 本県の被害概況

- 1 地震及び津波の概要
- 2 被害の状況
- 3 ライフライン被害の概要
- 4 市町村別の被害状況

## II 復興計画の策定

## III 「安全」の確保

- 1 被災市町村のまちづくり計画等の策定状況
- 2 災害廃棄物（がれき）の処理

## IV 「なりわい」の再生

- 1 水産業の状況
- 2 二重債務問題

## V 「暮らし」の再建

- 1 応急仮設住宅の状況
- 2 入居者意向調査の概要
- 3 義援金、寄付金

# 岩手県沿岸市町村位置図



# I 本県の被害概況

## 1 地震及び津波の概要

出典：岩手県災害対策本部調べ

項目	東北地方太平洋沖地震	宮城県沖を震源とする余震
発生日時	平成23年3月11日(金)14時46分頃	平成23年4月7日(木)23時32分頃
震央地名	三陸沖(北緯38°06.2'、東経142°51.6')	宮城県沖(北緯38°12.2'、東経141°55.2')
震源の深さ	24km	66km
規模	マグニチュード9.0(モントマグニチュード)	マグニチュード7.1(暫定値)
本県の最大震度	震度6弱：大船渡市、釜石市、滝沢村、矢巾町、花巻市、一関市、奥州市、藤沢町	震度6弱：大船渡市、釜石市、矢巾町、一関市、平泉町、奥州市
津波の最大波	宮古 11日15時26分 8.5m以上 釜石 11日15時21分 4.2m以上 大船渡 11日15時18分 8.0m以上 久慈港 8.6m(推定値)	

写真：壊滅的被害を受けた陸前高田市

## 2 被害の状況(人的及び家屋被害は平成23年9月16日、それ以外は平成23年7月25日現在)

被害の区分		被害	備考
人的被害	死者数	4,659人	
	行方不明者数	1,663人	認定死亡者1,260名含む
	負傷者	188人	一部、把握できていない市町村がある。
家屋被害	全・半壊	24,698棟	住家のみ
産業被害 (推計額)	農業被害	589億円	農地・農業用施設544億円、農業施設28億円等
	林業被害	250億円	林業施設199億円、森林37億円等
	水産業・漁港被害	3,587億円	漁港2,782億円、漁船234億円、水産施設等219億円等
	工業(製造業)被害	890億円	
	商業(小売・卸売業)被害	445億円	津波による流出・浸水被害の推定額であり、地震による被害は含めていない。
	観光業(宿泊施設)被害	326億円	
	計	6,087億円	
公共土木 施設被害	河川・海岸・道路等施設整備	1,723億円	海岸1,289億円、道路252億円、河川147億円等
	都市・公園施設被害	405億円	下水道306億円、公園99億円
	港湾関係施設被害	445億円	
	計	2,573億円	

出典：岩手県災害対策本部調べ

### (参考) 資本ストックの被害推計

(単位：10億円)

	推定資本 ストック A	推定資本ストック被害額				合計 B	被害率 B/A
		生活・社会 インフラ	住宅	製造業	その他		
内陸部	26,369	457	22	64	211	754	2.9%
沿岸部	7,449	1,943	607	191	781	3,522	47.3%
合計	33,818	2,400	629	255	992	4,276	12.6%

出典：株式会社日本政策投資銀行推計

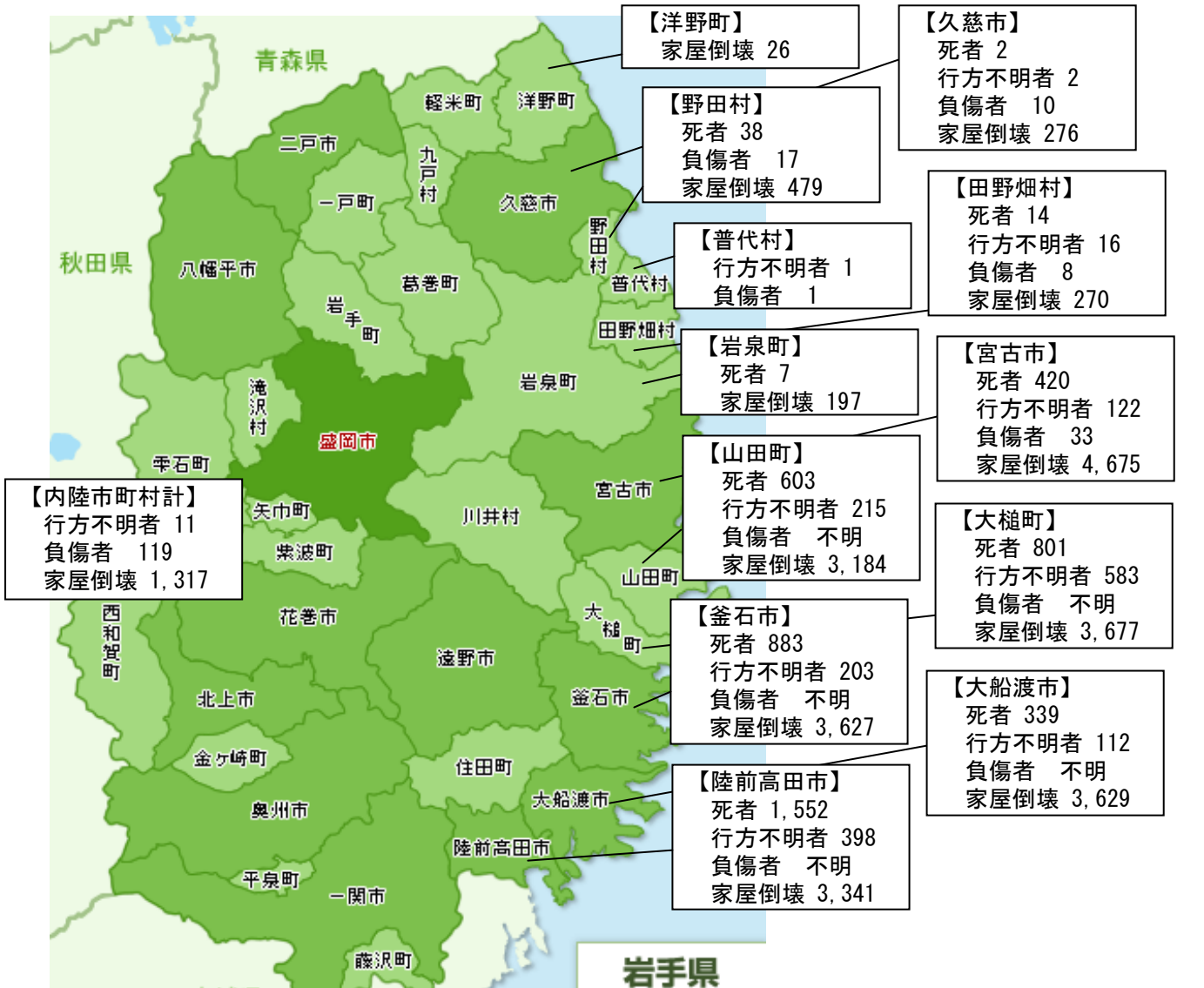
### 3 ライフライン被害の概要

区分	最大被害状況	復旧状況
停電	約 76 万戸	復旧完了 (5/28 復旧)
ガス供給停止	約 9 千 4 百戸	供給停止なし (4/26 復旧)
断水	約 18 万戸	復旧完了 (7/12 復旧完了)
電話不通	約 6 万 6 千回線	サービス中断中の通信ビルなし (4/17 復旧) ※

※加入者宅と通信ビル間の回線切断等により、利用できない場合がある。

出典：岩手県災害対策本部調べ

### 4 市町村別の被害状況 (平成 23 年 9 月 16 日現在)



**【県 計】 (平成 23 年 9 月 16 日現在)**  
 ■死者 4, 659 人 ■行方不明者 1, 663 人  
 ■負傷者 188 人 ■家屋倒壊 24, 698 棟

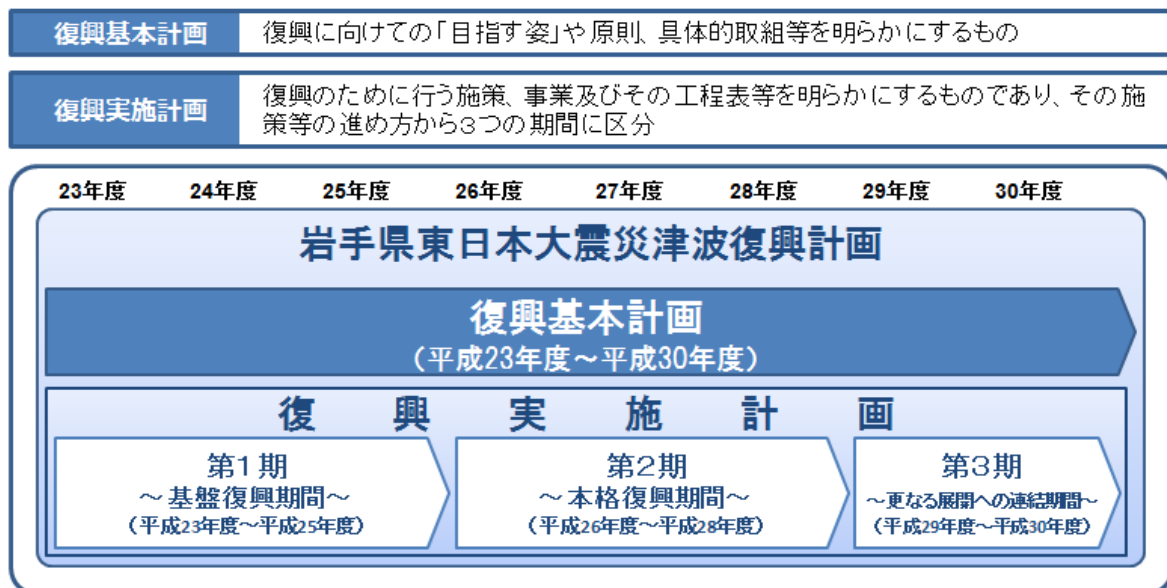
**【県 計】**  
 ■避難者 (避難者ピーク時 : 3/13 54, 529 人)  
 9 月 1 日現在、宮古市で自宅修理待ちのため市宮住宅にいる 4 名のみとなっている。  
 (参考) ※平成 23 年 9 月 14 日時点  
 県内内陸親類宅等に移った被災者 2, 383 人  
 他都道府県に移った被災者 1, 579 人

## II 復興計画の策定

県では、今回の大地震とそれに伴う巨大津波からの復興を進めるため、発災1ヶ月後の平成23年4月11日には第1回の「岩手県東日本大震災津波復興委員会」を開催、計画づくりに着手し、平成23年8月11日、「岩手県東日本大震災津波復興計画」を策定しました。

この計画は、復興委員会等における専門的な審議やパブリックコメント、地域説明会等での意見などを踏まえ、県議会での承認を経て、県として策定したものです。

### 【復興計画の構成及び期間】

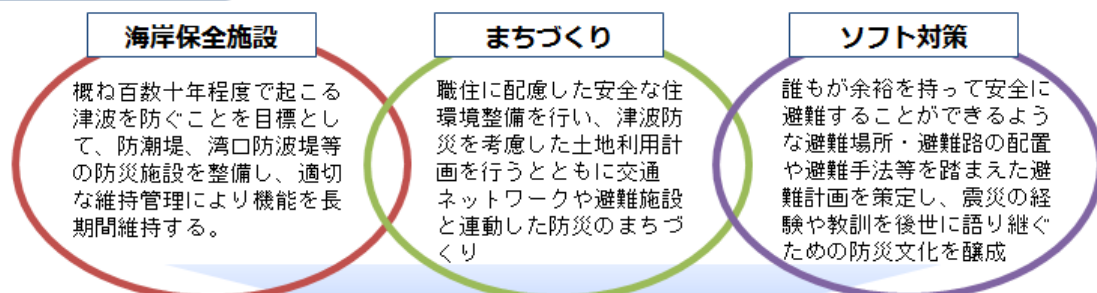


➤ 平成31年度に策定が予定される県の次期総合計画を見据え、平成23年度から30年度までの**8年間**を全体計画期間とする。

### 【津波対策の基本的考え方】

再び人命が失われることがない**多重防災型まちづくり**と**防災文化を醸成し継承**することを目指す

#### 津波対策の方向性



多重防災型まちづくりを進め、被害をできるだけ最小化する「減災」の考えにより「安全の確保」を図る

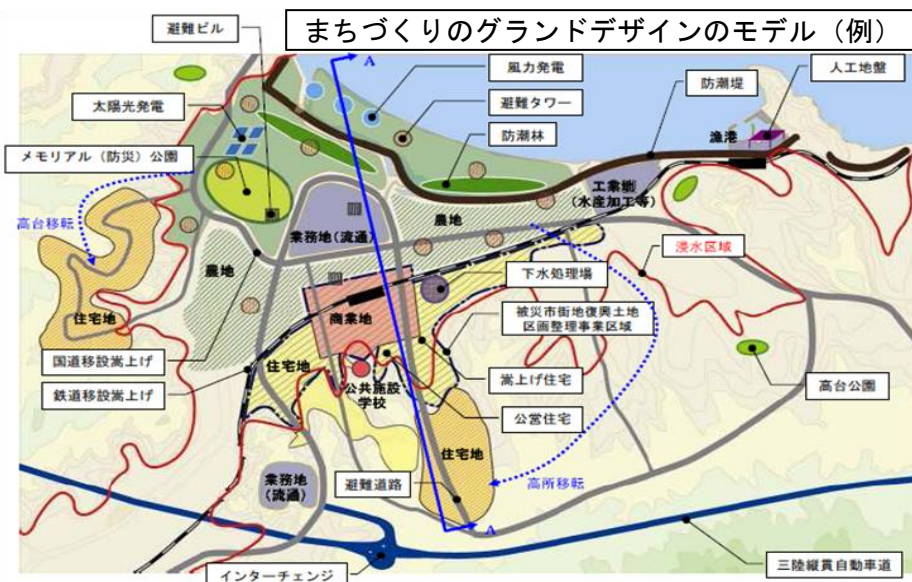
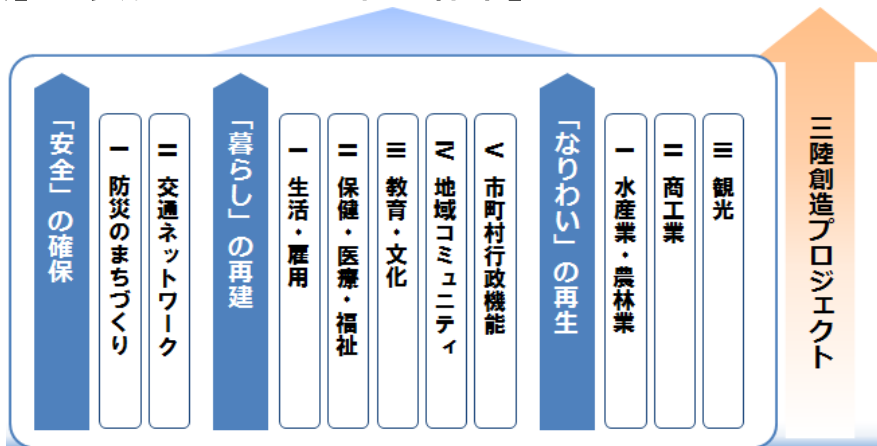
## 【復興の目指す姿】

いのちを守り 海と大地と共に生きる  
ふるさとと岩手・三陸の創造

### 復興に向けての考え方

- ▶ 安全で安心な防災都市・地域づくりによる復興を実現する。
- ▶ 「ふるさと」が「ふるさと」であり続けることのできるよう、地域社会づくりを通じた復興を実現する。
- ▶ 被災者一人ひとりに寄り添う人間本位の復興を実現する。
- ▶ 三陸の海が持つ多様な資源や潜在的な可能性などの特性を生かした復興を実現する。
- ▶ 多様な参画による開かれた復興を実現する。

## 【「目指す姿」の実現に向けた取組の体系】



まちづくりのランドデザインは、「まちづくりの視点」を踏まえ、「津波防災の分類」と「多重防災型まちづくりのツール」を効果的に組み合わせることで検討するものです。

市町村が作成する復興プラン等の参考としてもらうため、まちづくりのランドデザインのモデルとして示したものです。

### Ⅲ 「安全」の確保

#### 1 被災市町村のまちづくり計画等の策定状況

市町村名	復興計画の構想・基本方針等策定期期
洋野町	6/2 復興ビジョン、7/28 震災復興計画
久慈市	5/2 復興ビジョン、7/22 復興計画
野田村	5/27 復興基本方針、(11月予定) 東日本大震災津波復興計画
普代村	6/1 災害復興計画基本方針、(9月予定) 災害復興計画
田野畑村	(9月予定) 復興基本計画
岩泉町	5/20 震災復興計画(骨子)、(9月予定) 震災復興計画、(11月予定) 震災復興実施計画
宮古市	6/1 震災復興基本方針、(10月予定) 復興基本計画
山田町	5/23 復興計画策定に向けた基本方針、7/1 東日本大震災津波復興ビジョン、(12月予定) 東日本大震災津波復興計画
大槌町	6/9 震災復興基本方針、(9月予定) 震災復興構想、(12月予定) 震災復興計画
釜石市	7/11 復興まちづくり基本計画 復興プラン骨子、(9月末予定) 復興まちづくり基本計画
大船渡市	4/20 復興基本方針、(9月末予定) 復興計画
陸前高田市	5/16 震災復興計画策定方針、(11月予定) 復興計画

#### 2 災害廃棄物（がれき）の処理

- 生活環境に支障が出る災害廃棄物は平成23年7月末までにおおむね移動を完了しました
- その他の災害廃棄物は平成24年3月末を目途に被災現場からの移動を完了させます
- 処理については、平成26年3月末を目途に実施します

(参考)

#### 沿岸市町村の災害廃棄物処理の進捗状況

環境省公表データ（平成23年9月6日）

市町村名	がれき推計量（千t）		仮置場への搬入状況			撤去率 解体を除いた がれき推計量 に対する搬入 済量の割合 （%）
		うち家屋等 解体による がれき推計量 （解体済の ものを含む）	仮置場 設置数	仮置場 面積 （ha）	搬入済量 （千t） ※	
洋野町（ひろのちょう）	20	3	1	3.0	20	100%
久慈市（くじし）	74	20	4	5.0	74	100%
野田村（のだむら）	134	10	8	6.0	134	100%
普代村（ふだいむら）	10	-	2	2.0	10	100%
田野畑村（たのはたむら）	175	20	3	4.0	175	100%
岩泉町（いわいずみちょう）	29	5	1	4.0	29	100%
宮古市（みやこし）	860	140	11	30.0	595	83%
山田町（やまだまち）	553	40	16	17.0	487	95%
大槌町（おおつちちょう）	749	40	17	27.0	524	74%
釜石市（かまいしし）	762	400	11	19.0	278	77%
大船渡市（おおふなとし）	756	130	19	24.0	450	73%
陸前高田市（りくぜんたかたし）	956	90	14	88.0	935	100%
計	5,078	898	107	229.0	3,711	86%

※搬入済量：平成23年9月5日現在で県を通じて把握がなされた仮置場への搬入済量を集計したもの。  
なお、この搬入済量には、家屋等解体により発生したがれきで撤去が完了したものも含まれている。



## IV 「なりわい」の再生

### 1 水産業の状況

#### 状況

- 大震災津波により、本県沿岸部の基幹産業である水産業は、111 漁港のうち 108 漁港が被災。施設、漁船、漁具など、甚大な被害を受けました。
- 県下 24 沿海地区漁協では、多数の組合員が犠牲となっているほか、14 漁協で事務所が流出又は全壊するなど、漁協機能が失われました。
- 漁業者においても、全体の 90%以上の漁船が流出・損壊等被災したと思われ、漁具についても多くが流出し、生産手段が失われました。

#### 取組み

- 当面の安全性や機能の確保のための漁港、海岸保全施設等の応急的な復旧を進めます。
- 漁業協同組合による漁船・養殖施設等生産手段の一括購入・共同利用システムの構築を支援します。
- 中核的な産地魚市場の再開と安定的な運営に必要な施設の応急的な復旧と設備・機器の整備を支援します。



#### 復旧の状況



4 月：再開した宮古魚市場の様子



5 月：震災後初の天然わかめ漁の様子

### 2 二重債務問題

#### 状況

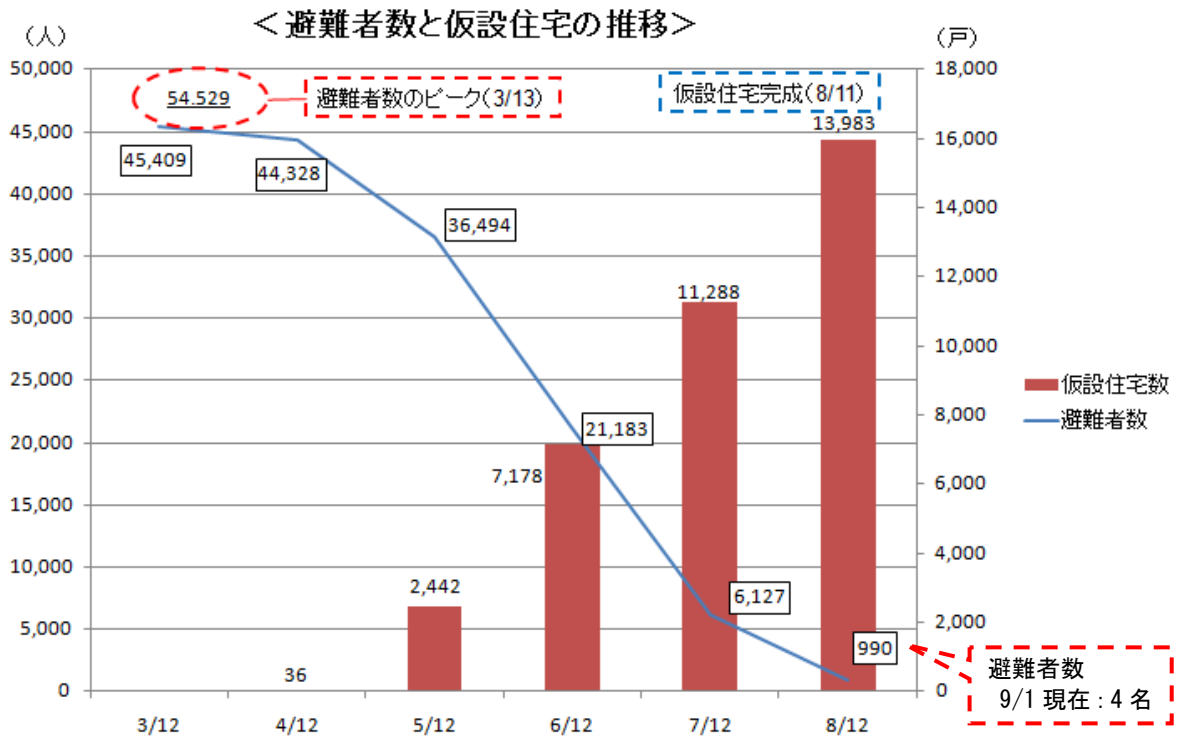
- 津波で事業所や自宅が流出するなどした沿岸部の被災者にとって、事業再開や生活再建にあたり、旧債務を抱えた状態で新たな借入れを行うことは非常に困難であることから、いわゆる二重債務の解消が求められています。

#### 取組み

- 国や地元金融機関と連携して二重債務の解消に向けた取組みを行っています。
  - ①「総合相談センター」や旧債務に係る買取りなどを行う「岩手県産業復興機構」を設立し、事業者を支援する体制を構築します。
  - ②住宅ローンなど個人の旧債務については、被災者生活再建支援金の拡充や、住宅ローンに係る利子補給制度の創設を国へ要望しています。

# V 「暮らし」の再建

## 1 応急仮設住宅の状況



### 応急仮設住宅等の入居状況（9月2日現在）

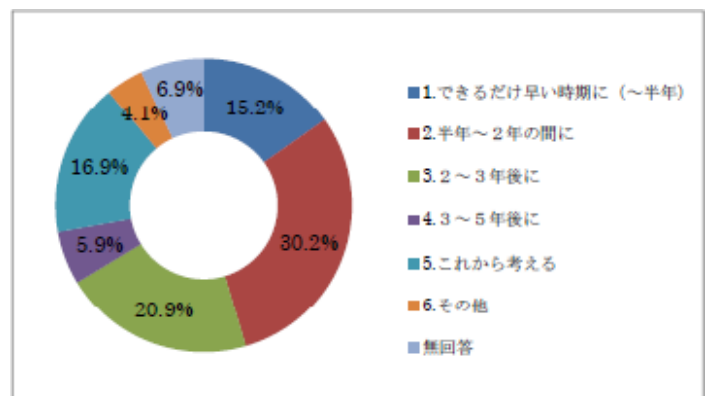
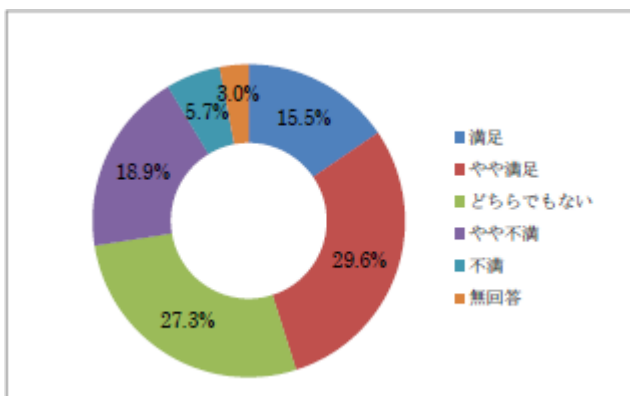
	応急仮設住宅	民間賃貸住宅	雇用促進住宅	公営住宅等	合計
戸数	12,875戸	3,448戸	829戸	174戸	17,326戸
人数	31,314名	8,932名	2,600名	529名	43,375名
割合 (人数)	72.2%	20.6%	6.0%	1.2%	100.0%

※「人数」については、推計値であること。（大船渡市については一部集計していないこと。）

### 応急仮設住宅の入居（9月2日現在）

完成戸数	入居決定戸数	入居済戸数	入居決定率	完成戸数に対する入居率	入居決定戸数に対する入居率
①	②	③	②/①	③/①	③/②
13,984戸	12,876戸	12,875戸	92.2%	92.1%	99.9%

## 2 入居者意向調査の概要（平成23年7月実施、県土整備部調べ）



### 3 義援金、寄付金

#### 義援金、寄付金の受付状況（県受付分）

★義援金 ～市町村を通して被災者へ配分されます～

（8月31日現在） 約 152 億 462 万円（66,195 件）

★寄付金 ～県が行う復旧・復興の財源として使われます～

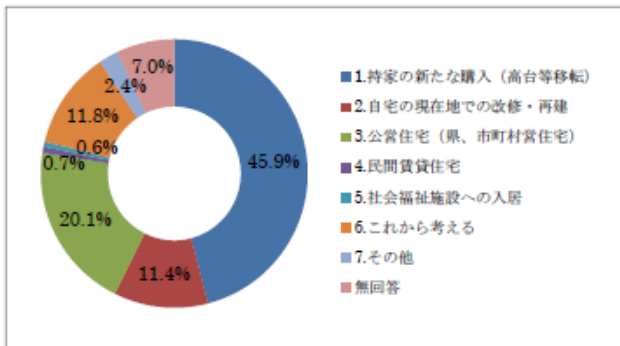
（8月31日現在） 約 52 億 994 万円（3,658 件）

★いわての学び希望基金の受付状況 ～親を失った子どもの支援に使われます～

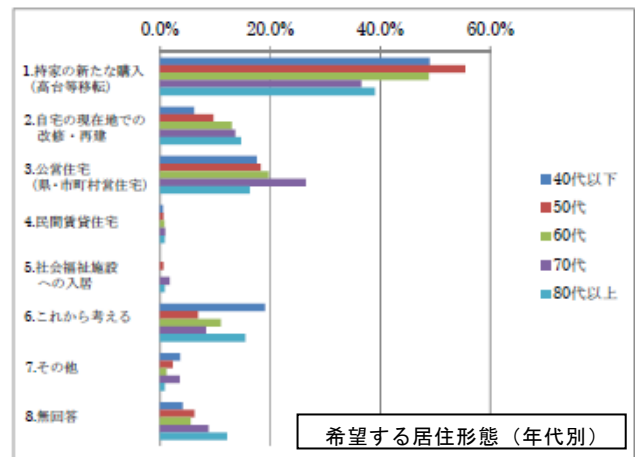
（8月31日現在） 約 12 億 5,939 万円（2,267 件）

#### 義援金、被災者生活再建支援金及び災害弔慰金の支給状況

区 分	被災者への支給額	摘 要
<b>義援金</b> （1次配分+2次配 分額合計） （例） 死亡 144.7万円/人 全壊 144.7万円/戸 半壊 85.0万円/戸	◆9/9現在 （1次配分） 27,549件・123億1,975万円 （29市町村） 支給率（金額ベース）82.2% （2次配分） 27,468件・212億6,511万6千円 （29市町村） 支給率（金額ベース）73.3%	◆9/2現在 （1次配分） 27,320件・122億1,750万円 （29市町村） 支給率（金額ベース）81.6% （2次配分） 27,225件・205億7,318万7千円 （29市町村） 支給率（金額ベース）81.4%
<b>被災者生活再建支援金</b> （例 複数世帯の場合） 全壊 100万円 大規模半壊 50万円	◆9/9現在（基礎支援金） 23,095件・209億7,150万円 （20市町村） 支給率（件数ベース）92.4%	◆9/2現在（基礎支援金） 21,091件・184億4,571万円 （20市町村） 支給率（件数ベース）91.7% （基礎支援金） 県受付件数 21,377件 国（指定委託法人（財）都道府県会館）への進達件数 21,367件（99.9%進達済）
<b>災害弔慰金</b> （例）死亡 生計維持者 500万円 その他1人 250万円	◆9/8現在 1,972件・60億4,500万円 （23市町村） 支給率（件数ベース）45.1% ※予算計上分に係る支給率	◆9/1現在 1,758件・53億9,250万円 （22市町村） 支給率（件数ベース）40.2% ※予算計上分に係る支給率



希望する居住形態（全年代）



希望する居住形態（年代別）

岩手は必ず復興を果たします。

引き続きのご支援、ご協力をお願いいたします。



岩手県復興局